

I. 平成30年度の実績

グループ名称	深呼吸したくなる家
H30採択グループ番号	-

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会		開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1		開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1			
	内容			
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先		機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制		
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業		
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①		
内容		
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	0 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1)グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	深呼吸したくなる家
H30採択グループ番号	—

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日		名称	南九州 深呼吸したくなる家 グリーン化事業説明会		
	内容	事業採択後に主に設計事業者、施工事業者を対象とした、事業説明会を行う。 [説明会項目] ・事業概要						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/06/14	名称	ヤマエ久野ハウズフェスタ(仮)		
	内容	建材流通事業者主催の展示会を行い、一般の施主、施主候補にも参加を募る。 グリーン化事業のメリットの説明や、事業要件の概要説明などを行なう。 また、WB工法の体験コーナーを設け、WB工法の特徴説明を行ないつつ実際に体験してもらうことにより、当グループの住宅を積極的に訴求する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日		名称	グリーン化事業 活用研修会(設計・施工者向け)	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日		名称	グリーン化事業 活用研修会(設計・施工者向け)	タイプ	実習
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局と設計事業者、及び、事業実績のある施工事業者3者でサポート体制を構築。 未経験工務店に対し、事業活用の準備から営業手法、設計・施工の注意点などを研修会等を通じて共有することにより、円滑な事業活用を促す。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	・地域型住宅の施工中、グループの工務店が倒産した場合の事務局によるバックアップビルダーを手配する ・施主への引渡し後に、グループの工務店が倒産した場合、メンテナンスを引き継ぐ工務店(グループ内)を紹介する						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	WB工法仕様を達成することで一定の省エネ性能を満たすことは可能だが、更なる省エネルギー化を目指し、グループ全体で省エネ基準適合を満たす仕様を積極的に採用するものとする。施工事業者ごとに仕様が異なるため、標準仕様の作成や、各種勉強会等を定期的実施していく。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	改修案件についても、新築の省エネ基準適合仕様を積極的に採用することとし、サポート体制を活用した、省エネ計算も行なっていく。改修については省エネの意識がまだ定着していない為、グループ内の過去の実績などを研修会等で紹介しつつ未経験工務店の参考とする。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日		
内容				
研修計画 ②		実施日		
内容				

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	深呼吸したくなる家
H30採択グループ番号	—

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WB工法を基本的な仕様とする</li> <li>・対象地域の森林面積の割合が他の地域と比較して多く、良質な桧・杉等が豊富であるため、可能な限り県産材、及び、九州産の木材を使用する</li> <li>・近年の九州地方の地震の影響を考慮し、長期優良住宅における耐震等級2を推奨仕様とする</li> <li>・住宅の快適性向上を目的として、内装材にも配慮した仕様とする(可能な限りクロス仕上げではなく、塗り壁、杉板等の内装材を使用する)</li> <li>・省エネルギー性能の向上を目的として、断熱材、サッシ、各種設備の仕様について高性能な建材を積極的に使用する</li> </ul>
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	県産材、及び、九州産の木材を積極的に使用するものとする。 住宅の状況に応じて柔軟に対応し、必要に応じて、集成材や外国産木材の使用も可能のとする。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ構成員をある程度限定し、木材の流れを共通化することにより、調達の簡素化を図る。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ構成員をある程度限定し、建材等の流れを共通化することにより、調達の簡素化を図る。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	地域型住宅における、建材(木材、断熱材、開口部、設備機器等)について、グループ内の構成員(建材流通、その他の流通)による共同購入を実施することにより、建材の価格を抑え、かつ、安定的な供給体制の整備し、事務の合理化、共有化を図る。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	国土交通省主催の「住宅の省エネルギー技術に関する講習」テキストの断熱施工に係る内容をベースとした施工基準を設ける。一定の省エネ性能を担保するとともに、省エネに係る確実な施工を実施しグループの信頼性向上を目指す	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	長期優良住宅の維持保全計画書を長期優良住宅以外の住宅においても使用することを推奨し、長期的なメンテナンスを行なっていく	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループで作成する現場チェックシート(仮称)を用い積極的に施工検査行なっていく。検査方法も統一し、グループで供給する住宅の性能の確保を行なう。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	標準見積書様式の使用を推奨する事により、高い品質の地域型住宅(長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅、性能向上計画認定住宅)を供給するグループであることを、お客さまに訴求する	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	働き方改革の基本的な指針等をグループで共有する
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	各構成員ごとに、技能手当や資格手当等の採用を推進する
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	深呼吸したくなる家	
H30採択グループ番号	—	—

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	地場の畳関連事業者と協力し、積極的な採用を目指す
② 和瓦の活用	有	内容	地場の瓦関連事業者と協力し、積極的な採用を目指す また、瓦については防災瓦についてもグループで採用を促す
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	九州内でも有数の木材産業エリアである為、住宅の構造材のみならず内装材にも宮崎県産材の仕様を推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	グループ構成員を対象とした県内の伝統的なデザインを視察する会などを企画し、今後供給する住宅に伝統的なデザインを取り入れたものを施主に提案を行なっていく。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	世代を越えて安心・安全に暮らすことが可能な地域型住宅の供給を行う為に、可変性のあ る間取り、再利用可能な素材使用等を積極的に取り入れた仕様とする
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	街並み形成の一環として、外装材・屋根材の色身を控えさせた仕様とすることを推奨する。 また、外構においても庭木などの緑化率を増加した仕様を推奨する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	各地復興支援等にはグループ全体で積極的に参加するものとする